

藤川の里 だより

発行/（社福）愛知県厚生事業団 おもいやりを かたち

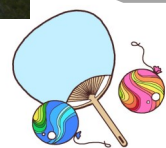
愛厚藤川の里 （障害者支援施設）

〒444-3523 岡崎市藤川町字堤ヶ入1-2

TEL 0564-48-6130 第104号



7月23日（土）に開催された夏祭り



大治太鼓保存会の「太鼓演奏」

太鼓の音が響くなか、みなさん楽しそうに踊っていました。今年は例年以上に、たくさんのお客さまにお越しいただきました。

夏祭りを終えて

主査（指導） 木村 祥

天候にも恵まれ、毎年恒例の夏まつりを七月二十三日（土）に無事開催することが出来ました。

夏まつりは地域の皆様、ボランティアの皆様、ご家族様と大変多くの方々のご理解、ご協力をいただくことで初めて実施することが出来る行事です。

今年はメインのアトラクションとして、大治太鼓保存会の皆様による和太鼓演奏と愛知産業大学三河高等学校地域交流部の皆様によるよさこい踊りを披露していただきました。

大治太鼓保存会の皆様、愛知産業大学三河高等学校地域交流部の皆様、立正佼成会岡崎支部の皆様のほかにも中部善意銀行の夏期高校生ボランティアとして光ヶ丘女子高等学校、県立豊明高等学校、県立幸田高等学校、愛知産業大学三河高等学校、岡崎学園高等学校の学生の皆様にもご協力をいただいて行事を行うことが出来ました。利用者の皆様も、大変喜ばれ楽しんでおられたと思います。

職員一同、利用者様やご参加の皆様にご協力いただく内容にしようと試行錯誤し、模擬店は、ジュース、アイス、焼きそば、フランクフルト、唐揚げ、ポップコーン、綿菓子、風船釣り、ゲームが出店しました。年々、趣向を凝らし模擬店も出店数や内容が少しずつですが充実してきたと思います。

このような大きな行事をとおして改めて皆様のご協力の大切さを学ぶことができたと共に、ご支援、ご協力いただきました皆様へ、この場をお借りし改めてお礼をお伝えしたいと思います。ありがとうございました。

最後になりますが、鈴木総代会長始め各町総代の方や民生委員さん、近隣小学校、高校の校長先生などご出席に感謝します。地域の方々の理解、協力があればこそ感じております。

津久井やまゆり園の事件を受けて



7月26日（火）早朝の事件は、日本全国、世界の人々に驚きの出来事と報じられ、福祉施設に生活されている利用者さん、職員の皆さんに不安感を抱かせる大きな出来事でした。改めて、19名の尊い命が失われたことお悔やみ、怪我をされた方のお見舞い申し上げます。当事業所で生活されている皆さんからも「捕まったの？」と職員に話されるのをお聞きしました。防犯については、事業所を利用されている方の、外部へ内緒で出られるのを防ぐための方法として長年体制づくりをしてきましたが、今回のことを受けて、外部からの不審者侵入のための防犯体制の見直しとなりました。

8月14日（水）午後、岡崎市障害がい福祉課、安全安心課職員と岡崎警察署安全課から防犯体制の現地確認が実施されました。

防犯に関する指導、不審者への防犯対策の訓練を実施するようとお話しを頂きました。また、当施設では行っていましたが、職員のメンタルセルフチェックの実施も法人全体の取り組みとして始めました。利用者様が、少しでも安心して生活できるように、19名の尊い命が失われた辛い悲しみの思いと、負傷された方々のことを忘れないためにも事業所として努力していきます。（次長兼サービス管理員 森 豊）

就職後、半年間を振り返って！

（指導員）出店利器 桑嶋歩実

就職してから半年が過ぎました。色々大変なことがありましたが、藤川の里の職員のみなさんに支えられて楽しく仕事をさせてもらっています。大学の講義とは違い、生の現場を見ること、体験することは自分達に、とても貴重な経験だと実感しています。

まだ社会人半年の新米なので、これからもっと知識向上・介護技術向上が出来るように藤川の里で頑張りたいと思います。

職場の雰囲気も良く、働きやすい環境です。



編集後記

リオオリンピックも終わり、最近朝も涼しくなり、過ごしやすくなりました。世間では、「ポケモンGO」や「自動運転車」のニュースがよく流れ、新しい技術も出てきています。藤川の里でも、利用者さんのニーズをしっかりとキャッチし、柔軟な発想で喜ばれるサービスを提供していかなければならないと感じてきています。

＜広報委員 三輪＞

寄贈

☆シバタ歯科からの寄贈

5月30日（月）リクライニング車椅子の寄贈がありました。⇒⇒



☆中部善意銀行からの招待

8月16日（月）「志村魂」を見に行ってきました！本物の志村けん、ダチョウ倶楽部が出てきて、終始笑いの嵐でした。⇒⇒



★行事紹介★

七夕バイキング 7月7日



願い事は何しようかな？

今日は食べ放題だ！！

事務所職員も応援です。(o^▽^o)

給食委託会社である魚国総本社の協力もあり、焼きそば、鶏のから揚げ、そうめん、星形のコロッケ、ハンバーグ、七夕ゼリーなど十種類のメニューを提供しました。バイキングの雰囲気づくりのため、チャーフィン(銀皿を乗せる台)や銀皿等を使用しました。

利用者みなさんは、好きな物を好きなように選び、楽しめていました。本日限りの食べ放題とあって、大満足の様子で「おいしかったよ」「今度いつやる」と大好評でした。今度はクリスマスに行いますので、希望するメニューがあればお知らせください。

行事予定



11月

・秋の家族交流会(13日)

生バンド演奏予定♪

・焼き芋会(24日)



12月

・家族会研修会(3日)

岡崎苑見学予定

・クリスマス会(22日)

医務室だより インフルエンザの予防について

今回は、みなさんも良くご存じの秋から冬にかけて流行する、**インフルエンザ**のお話をします。2016年もインフルエンザが猛威を振ると予想され、ピークは12月～3月の時期と言われています。

＜主査(看護) 大谷みゆき＞



＜特徴的な症状＞

①38℃以上の急な発熱 ②鼻汁、咳・のどの痛み

③関節や筋肉痛・倦怠感などの全身症状

＊体質など個人差もあり熱がでない人もいますが、微熱でもひどいだるさが現れる人もいます。

＊38℃以上の熱が無くても、感染している場合があります。

全身症状がみられる時は、早めの受診が重要です。

＜インフルエンザ予防の基本＞

①睡眠・食事をしっかりとる。 ②ワクチン予防接種

＊卵アレルギーが無ければ、必ず接種された方が良いです。

＊予防接種の効果が現れるのに、2～4週間かかります。

感染症対策の勉強会も実施



藤川の里では、職場研修が充実しております。



6月30日(木)

メンタルヘルス研修



8月18日(木)

自閉症の理解と支援



8月23日(木)

利用者の権利擁護、虐待防止



◆講師 岩田 純 先生

(産業カウンセラー)

健康に生活できるよう、ストレスを和らげる方法を学びました。

職員からは、「休みの日は仕事のことを考えない」「ジム行って体を動かす」など、意見があり、ストレスを溜めない工夫をしているようです。

◆講師 高橋 新吾先生

(みあい特別支援学校)

支援学校での自閉症者への支援の取り組み、卒業後の進路状況など話がありました。

学校ではコミュニケーションツールとして、iPadを活用して効果があると説明がありました。藤川の里でも、iPadの導入を検討しています。

◆講師 前田 修 先生

(岡崎市虐待防止センター)

「障害者虐待防止法」など制度的な事、岡崎市内での虐待介入事例、「虐待をしてしまったのでは？」と思われる不適切な支援の紹介など、幅広く講義をして頂きました。虐待を未然に防ぐには自己点検シートが有効とであると助言がありました。

岡崎女子大 施設実習特別講義



熱弁する小柳津生活支援員

6月23日(木)岡崎女子大学施設実習特別講義に講師として出掛け、81名の学生たちの前で講演をさせていただきました。

グループ討論と事例検討を中心に行いました。グループで考えた答えを積極的に手をあげて、発表して下さった学生さんも多くおり、講義を盛り上げてくれました。事例のロールプレイングを学生さんに体験してもらうことができ、障害者支援施設でのコミュニケーション方法が少しだけでも、イメージ出来たのではないかと思います。

今年の夏も、多くの実習生がきてくれました！



実際にロールプレイングを体験してみましょう！！



愛知県立大学実習生



岡崎女子大学実習生